

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市障害者就労支援センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市障害者福祉協会
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 ・年度未利用者数 平成30年度：753人（前年度比 108.7%） 平成29年度：693人（前年度比 112.5%） 平成28年度：616人（前年度比 119.1%） ・相談対応延べ件数 平成30年度：23,086件（前年度比 125.6%） 平成29年度：18,381件（前年度比 126.0%） 平成28年度：14,589件（前年度比 117.5%）
		《事業》 障害者就労に係る支援事業 ・障害者・家族・支援者・企業等に対する総合相談窓口としての就労・雇用相談・援助 ・就労支援者とのネットワーク構築及び市民への障害理解啓発による職域拡大、情報提供 ・企業内見学・実習のコーディネートと就労後の定着支援 ・職場への職場適応援助者の派遣等による人的支援
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 57,000千円 (57,000千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 窓口アンケート（平成30年4月1日～平成31年3月31日実施。回答数15件） 職員の挨拶、言葉づかい、説明、身だしなみ、施設内の清潔さ、施設利用の印象の6項目について5段階評価で集計した。前回等90件中「大変満足」と「満足」を合わせて69件（76.7%）という評価を得た。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設運営上の基本方針や事業概要等は所内で公開されており、周知が図られている。 また、施設目的を達成するため、関係機関との連携を図り、相談支援、職場定着支援、企業開拓、情報提供等が適切に実施されている。 なお、相談支援の際には、相談者からの依頼に応じて手話通訳者の配置や筆談に対応できる体制を整備しているほか、情報提供にあたっては、広報誌にSPコードを付しているなど、各種取り組みを進めるにあたり、情報保障の観点も適切に取り入れている。	30/30
II	施設の運営管理体制	女性職員等が活躍しやすい柔軟な働き方を実現させるため短時間勤務を導入したり、職員間で他の職員の業務状況を把握しやすいように工夫するなど、職員が働き続けやすい職場環境づくりを積極的に進めている。 また、開館実績、指定管理料の執行状況、災害発生時の対応体制等についても適切に管理運営されている。そのほか、個人情報の保護に関する取り組みについて、職員会議だけでなく法人内の研修を実施し、守秘義務等必要な事項の周知徹底に取り組んでいる。	24/24
III	施設・設備の維持管理	掲示物の管理も含めて室内は整理されており、利用者が快適に利用できるよう、環境づくりについて職員会議で共有されるなど、積極的に取り組まれている。 また、建物・設備、備品についても適切に維持管理されているほか、仙台市環境行動計画に基づいて、省エネやグリーン購入など、環境に配慮した取り組みも適切になされている。	16/16
IV	サービスの質の向上	職員全員が各自の研修計画を作成しており、サービスの質の向上につながるよう各種研修会に積極的に参加する体制を整えている。利用者への説明の際には、情報保障にも配慮のうえ、パンフレットや説明資料を活用しながら、分かりやすく丁寧な説明を心がけている。 また、機関紙やホームページ、メールリストを活用して、関係機関、利用者等への情報提供を積極的に行っており、利用促進を図っている。 その他、苦情解決の仕組みを適切に整備しているほか、窓口アンケートや各講座時にアンケートを実施し、利用者の意見の把握に努めるなど、サービスの質の向上のための取り組みが適切になされている。	28/28
V	施設固有の基準	障害者一人ひとりのニーズに応じた相談支援や、就労移行支援事業所等への支援ノウハウ向上のための支援、各種支援機関による就労支援ネットワークの構築、障害者や支援機関と企業とを結ぶ各種機会の創設、就労した障害者の職場定着に関する支援など、各種の取り組みについて前向きかつ適切に行われている。 特に、就労移行支援事業所等連絡会議に新たにワーキンググループを設置したことは、参加者の支援スキル向上に繋がっているだけでなく、関係機関との連携や情報交換の場としても機能しており、高く評価できる。	18/17

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">加点評価</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>		加点評価	—
加点評価	—		

四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市障害者福祉協会）による自己評価》
<p>施設が所在する泉区役所庁舎設備と指定管理にともなう設備・備品の維持管理を適切に遂行しました。利用者アンケートは相談支援の大多数がアウトリーチしているため、来所者の回収数は少なかつたものの、施設内に「ご意見箱」を設置し、利用者が意見や要望を出しやすい環境を整え、速やかに対応したことから、高い満足度が得られました。</p> <p>事業においては本市における障害者の就労支援の中核として、障害者753人の就労相談に応じ、新規雇用先開拓のために395社の企業に対して延べ5、235件の働きかけを行い、42社の新規雇用先企業を開拓し、89人の一般就労を実現しました。定着支援については、過年度就職者も含めた114名に対して370回の企業訪問を行い、本年度就職者の年度未定着率91%を達成しました。また、企業の障害者雇用に対する理解を啓発するために、企業14社で延べ21回の企業内勉強会を実施するとともに、関係機関とのネットワークを活かし、就労移行支援事業所の利用者支援をバックアップし、企業79社における障害者延べ271名の見学会と、63社における障害者延べ109名の実習をコーディネートし、仙台市障害者保健福祉計画の数値目標達成に寄与しました。関係機関とのネットワークについては、就労移行支援事業所のほかに相談支援事業所、労働・医療、企業等が参加した「就労移行支援事業所等連絡会議」を3回開催し、就労と生活の一体的な支援を行う連携体制を整えるとともに、同連絡会議を基盤に支援者の人材育成・就労定着支援・医療連携の3つのワーキンググループを設置し、支援機関が連携して課題解決する仕組みを構築しました。</p> <p>全体として、障害者本人、家族、支援機関、企業等に対する総支援件数において前年度比125.6%増の延べ23、086件の相談支援を行い、総合相談力の発揮や就労支援ネットワークの充実、障害者の雇用の促進及びその職業の安定を図ることができたものと考えます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度の管理運営については、平成29年度と比べ支援対象者数や相談件数が大幅に増加しただけでなく、企業及び支援機関への訪問や企業向け勉強会等、多くの取り組みにおいて平成29年度の実施回数を上回る積極的な取り組みが認められる。</p> <p>その他、アンケートを実施し寄せられた意見を職員間で共有していることや、職員研修の実施、短時間勤務を導入する等の職場環境整備等、当該センターのサービスの質向上への取り組みも継続して実施されている。</p> <p>特に、就労移行支援事業所等連絡会議に新たにワーキンググループを設置したことは、参加者の支援スキル向上に繋がっているだけでなく、関係機関との連携や情報交換の場としても機能しており、本市における全体的な支援力向上に寄与している。</p> <p>このような一連の取り組みの成果として、一般就労者数が過去11年間で最も多くなったことは、高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害企画課